


# さいたま市の学童保育の充実を求める陳情書



オンライン署名も  
受け付けています。  
署名フォームはこちら

陳情団体

さいたま市学童保育連絡協議会  
さいたま市学童保育指導員会  
さいたま市学童保育指導員労働組合

学童保育(放課後児童クラブ)は、働きながら子育てをする保護者にとって、なくてはならない施設です。しかし、さいたま市はその2/3が保護者会を主体とした団体が行政の委託を受けて運営しており、本来運営を担うべき行政の支援は十分ではありません。委託金の制度は少しずつ改善してきましたが、公設クラブと民設クラブの保育料の差は**月額で最大10000円も差があります**。子育て世代の保護者が安心して働き続けることができる、子育てしやすいさいたま市を目指して、学童保育施策の充実をお願いします。

## □保育料が高い …国基準では足りない委託金

さいたま市は質の高い保育を実現するため、国基準プラス1名以上の常勤職員を置くことを条例で定めています。しかし、さいたま市の委託金は国の基準と同額になっており、常勤職員1名分の人件費約300万円が足りず、保育料の負担につながっています。加えて、近年の最低賃金の上昇、消費税の増税は委託金に反映されてこなかったことが保育料の値上げに拍車をかけており、保護者の負担はもう限界です。委託金の増額が必要です。

## □運営が大変 …働く保護者が運営業務を担っている。

保護者会が運営する民設のクラブでは、自分の仕事をもつ保護者が、自分たちで保育料を集め、行政と書類を交わし、職員の募集や契約といった運営事務を行っている実態があります。今年度新たに、保育の周辺業務(運営事務等)を行う職員を配置する制度がつけられましたが、実態にはそぐわず、期待されていた保護者の運営負担軽減にはほぼ反映されていません。保育に必要な経費を確保したうえで、運営業務を担う職員を配置することができるような委託金の制度が必要です。

## □施設整備が大変 …施設探しは保護者の負担、整備費補助も不十分

さいたま市の民設クラブは民家や貸店舗を利用しているクラブがほとんどですが、何らかの事情で新しい施設が必要になったとき、クラブを運営する保護者が新たな施設を探さねばならず、大きな負担です。また、新たな基準では多くの子どもを受け入れると、委託金が減額されることとなり、待機児を出さないためには適切な規模のクラブを新たに作る必要があります。行政が施設を提供できないのであれば、十分な家賃補助や施設整備の支援が必要です。

## □深刻な人手不足 …職員の処遇改善が急務

質の高い保育のためには、研修を重ねた職員の複数配置が必要です。しかし、正規・パート共に今の給与水準では十分な人材を確保することはできません。ようやく見つけても3年で約半数が退職してしまうのが現実です。学童保育で働くことが、仕事を探している方たちの選択肢に上り、そして働き続けることができるような条件の整備が必要です。

### 【要望項目】

1. 安定的な運営と保育料負担軽減のため、委託金を増額してください。
2. 保護者の運営負担を軽減できるような委託金制度を実現してください。
3. 行政の責任のもと、安全で安心な施設を整備してください。
4. 深刻な人手不足解消のため、職員の処遇改善につながる制度を作ってください。

名前 (代筆可)	住所
	都道府県 市
	都道府県 市
	都道府県 市
	都道府県 市
	都道府県 市

趣旨に賛同される方なら年齢は問いません。  
市外の方でも署名できます。  
同じ住所の場合は「同上」と表記して下さい  
ご記入の個人情報は今回の陳情以外には使用しません。

連絡先 さいたま市学童保育連絡協議会 〒338-0002 さいたま市中央区下落合7-7-6 ☎048-840-0962

署名取扱団体 さいたま市学童保育連絡協議会

2022年版

# 「子育て」×「仕事」 もっとサポート

さいたま市の学童保育は、市がNPOなどの団体に学童の運営を「委託」しています。

市からもらう「委託金」と、  
利用者が支払う「保育料」を  
合わせて学童を運営しています。



しかし「委託金」の額は十分ではありません。

職員が見つからないから  
お給料を上げないと...

日中は自分の仕事。  
学童の運営業務をしてくれる  
人が雇えればいいのに...

施設を探したけど、  
家賃の高いところしかない...

民間NPO運営では、  
大半の保護者が「利用者」  
かつ「運営者」



といった事情で困って市に相談しても、



全体のバランスを見て検討します  
(学童だけ増やすわけにはいかない)

保育園は様々な  
支援制度があるのに  
学童にはないの?

保育園卒業したら  
次は学童に  
いきますよね?



という姿勢で、なかなか変わりません。

本来は行政が行うべき事業なのに、  
足りない分は保育料の値上げになってしまいます。

子どもたちの安心安全な生活のためには良い環境が必要です。  
子どもが元気に過ごせる場所と、それを温かく見守る職員さんがいて  
はじめて、安心して働きながらの子育てができるのです。



そのためにはもっと市の支援が必要です。

皆さんの声が、一筆が、市を動かす力になります。